



2010年4月16日 2年学年だより 第2号

♪上級生としての自覚を持ちましょう!!

2年生に進級して、新しいクラスでの生活にも慣れてきた時期だと思います。4月13日には専門委員会が行われ、昨日は1年生に向けての部活動説明会も行われました。皆さんは学校生活の中で先輩という立場になりました。上級生としての自覚を持ち、下級生から見て恥ずかしくないようにこころがけましょう。

～2年生進級にあたって先生方からひとこと～

★上田先生より

5年前の緑丘中の始業式で、鈴木元校長先生が、桜が満開に咲きほこっているのを見て、「ああ、今年もこの桜が見れてよかったと思うのです。」と、お話されました。その時は「そんな?！」と思っていたのですが、そういう気持ちに共感できるようになりました。

—今年の私の目標とする言葉—

「平凡なことを毎日平凡な気持ちで実行することが、すなわち非凡である」

(アンドレ・ジイド)

☆関口先生より

遅ればせながら進級おめでとうございます。2年生であることの自覚を持って、一日一日を大切に過ごしましょう。そして、1年生に信頼される優しい先輩になってください。私の今年の抱負は、「毎日笑顔で過ごす」なのですが、怒ってしまうことがあるかも…。

★小松先生より

進級おめでとう。2年生になり、気持ちが前向きな人がとても多く、数学の小テストもよく頑張っていたね。そんな君たちだからこそ、君たちの「中だるみ」や「カッコつけ」は見たくない。是非「一生懸命がかっこいい」を1年生に見せつけ、学校を引っ張ってほしい。期待してるヨ☆

♪次回のメッセージは、矢戸先生、若尾先生、大上先生からです。

～2年生になったの作文紹介～

「2年生になって」

2組 Tさん

私は2年生になって、後輩を引っ張って行けるような人になりたいと思います。昨年の体育大会では、私は1年生だったので緑丘中のことが全く分かりませんでした。しかし、3年生は応援の仕方などを優しく教えてくれました。私たち黄色組は2年生がいなかったので、人数が少なく応援賞は取れないものと思っていましたが、3年生は諦めず、私たちは見事応援賞を取ることが出来たのです。

昨年の学芸発表会では、私は1年劇をやりました。準備期間があまりなく、キャストも裏方の人たちも頑張って、練習や衣装作りなどをしていましたが、学級閉鎖になり、練習ができない時もありました。その時に、2年生や3年生が照明などを手伝ってくれて、劇は無事に成功しました。

これらのこと以外にも、先輩たちは、分からないことがあれば優しく教えてくれました。

進級し、学年が変わり、今度は教えられる側ではなく、教える立場になります。緑丘中のスローガンである「一生懸命がかっこいい」という気持ちをしっかり持ち、後輩を引っ張って行ける先輩になりたいです。そのためには自分の身の回りのことも考え、その事よりも友達に気を配れるように、いつも心がけたいと思います。

「2年生という立場で」

4組 Tくん

僕は、まだ2年生であるという実感が湧いていません。1年生では、様々な行事で上級生に頼り切っていました。そんな僕が2年生となり、後輩を持つことになる事に、不安と楽しみな気持ちでいっぱいです。

僕は2年生での目標が三つあります。一つ目は、勉強と部活の両立です。どちらも中途半端でなく、本気でやりたいです。これは、一番荒れる時期である2年生で、いかに一生懸命がかっこいいを実践できるかという自分との戦いだと思います。それがどれだけできるかで、学校での充実度も変わってくると僕は考えました。二つ目は生活についてです。僕は他の人よりだらしく、提出物は期限を守らない、忘れ物は日常茶飯事という1年生でした。学校の中心となる2年生が、責任を持った行動を出来ないというのは、大変な問題だと思います。そのためには、心を入れ替え、いい訳は絶対しないようにしたいです。最後は学校行事についてです。お世話になった3年生は、どの行事も最後となり、新しく入ってきた1年生は初めてのことばかりで、きっと期待が大きいだろうと思います。そんな大切な行事を盛り上げて行くには、2年生がとても重要になってくると思うのです。その中でも僕は、特に合唱コンクールに強い思い入れがあります。1年生の時、悔いが残った唯一の行事が合唱コンクールだからという理由と、4組というクラスの集大成が出来る行事だからです。1年生の時、担任である小松先生に贈ることができなかった学年優勝、そして緑の大賞を贈るチャンスが、また回ってきたのです。

僕は、合唱コンクールを終えたときに、「このクラス、この学年で本当によかった」と思えるような1年間にしたいと思います。

♪今回の題字のデザインは 2組

0

くんの作品です。